

実行委員会の大会延期の決定を受けて

大会顧問司教 梅村昌弘

キリストの平和

今般、全国カトリック青年大会（Japan Youth Day）の実行委員会から今年5月に開催される予定であった大会を一年延期する旨の決定が伝えられました。新型コロナウイルス感染症の発生状況を鑑みての青年たちの苦渋の選択です。大会の顧問司教として皆様方には何卒ご理解とご協力をいただけますよう改めてお願い申し上げる次第です。既に献金等をもって経済的な支援をしてくださった方々もおられることと思います。中止ではなく延期でありますので、来年の開催のために役立たせていただきます。来年に向けた準備のために今後も多くの方々に引き続きご支援賜ることができれば幸甚です。

今大会のテーマは、**Christus vivit** 『キリストは生きておられる』です。世界代表司教会議を受けて発表された教皇フランシスコの使徒的勧告のタイトルそのものをもってテーマとしていますが、実行委員会の皆さんはさらに副題として「それでもわたしはキリストと生きる」を掲げました。まさに今この時にこそ求められているメッセージだと感じます。主日のミサが中止されたり、入門講座をはじめさまざまな講座が取り止めになったり、教会で集うことさえ儘ならなくなったりしています。その意味で今こそわたしたちの信仰が試されているのだと思います。教皇訪日を受けての大会にできなかったことは非常に残念ですが、たとえ延期されたとしても教皇の呼びかけに答えて開催される今大会が日本の教会の希望のしるしとなることは間違いありません。日本全国から集う青年の皆さんとお会いできる日を楽しみにしています。日本の教会の皆さん、青年たちのためにお祈りください。そしてこれからもあたたかく見守り、応援してください。よろしくお願い申し上げます。